

# 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	手順に気を付けて、手洗いの仕方を見直そう
学年	小学校第6学年
目標	病原体がもとになって起こる病気の予防には、病原体の発生源をなくしたり、その移る道筋を断ち切ったりして病原体が体に入るのを防ぐことが必要であると考えることができる。
教材タイプ	アンプラグド
使用教材	
環境	
都道府県	高知県
実施校	南国市立長岡小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 病気の予防方法について考える。</p> <p>前時での病気の起こり方を確認し、日常的に自分たちが行っている病気を予防する方法として、手洗いをういていることを想起させる。そして、手洗いで大事なことは何かということを探っていくことを明確にする。</p> <p>2 手順を考える</p> <p>まず、個人で手洗いの手順にはどのようなものがあるかを書き出すようにする。次に、書いたものを班で確認し、同じ方法や違う方法があることを確認する。そして、出し合った意見をもとに、班でホワイトボードに方法を書いた付箋を貼る。この時に、どのような洗い方がいいのか基準を明確にする。(洗い残しがない、汚れがしっかり落ちているかどうか等)</p> <p>3 手順のチェック</p> <p>班で考えた手順で実際に手洗いをする。この時に、実践する児童とチェックする者に分かれる。実践者は、絵の具を菌に見立て、手洗いを行う。チェックする人は、その手順で汚れが落ちているか確認する。そして、実践を参考にその手順で良かったかどうかを話し合い、手順を見直し再実践する。(チェックと実践のメンバーを変える)</p> <p>最後に、自分たちが考えたものを養護教諭に評価してもらい、自分たちで手順を考えたり実践して分かったことや気付いたことをまとめる。</p>
成果と課題	<p>手の汚れが取りきれなかった原因や、手洗いをよりよくするためには何をどうするか【回数、時間、部分など】を付け足したり、手洗いの手順の修正を考えたりすることでプログラミング的思考の育成につながった。</p> <p>なお、本校ではプラグドによるプログラミング教育も実施しており、計画的・総合的にプログラミング的思考の育成に取り組んでいる。</p>

